

情報教育委員会のあゆみ

組織再編の流れの中、情報教育委員会単独での活動は今年度が最後となった。これまでの活動を振り返ってみる。

平成6年度

情報教育委員会設立準備委員会の設置

情報教育研究組織設置のための準備検討委員会を設置し、設立に向けて調査研究を開始した。

平成7年度

情報教育委員会発足

1年間の準備を経て、情報教育委員会が正式に発足した。研修会の企画や運営、調査活動を開始。8月1日には夏季実技研修会を、また、アンケート調査を実施し、各支部の活動報告を収集するなど、現在も続く基本的な流れは1年目から確立した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第1号（B5版71ページ）を発行した。

なお、1年目の事務局は、たった4名での活動であった。



平成8年度

研究部・編集部を立ち上げ、研修体制を確立

組織を充実させ、調査活動の本格的な活動を開始した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第2号を発行した。

平成9年度

情報教育特別委員会発足

愛教研全体のWebサイト構築を担うため、特別委員会として活動することになった。

教育におけるインターネットの利用方法についての研究を開始した。

研究報告として、愛媛県下の教育現場・教育関係機関・行政を結ぶネットワークの必要性を訴えた。

研究紀要「愛媛の情報教育」第3号を発行した。

平成10年度

愛教研Webサイトの開設にむけて準備を行った。

研究紀要「愛媛の情報教育」第4号を発行した。

平成11年度

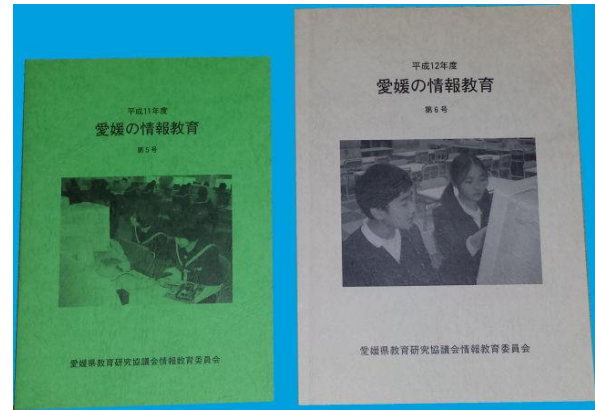
愛教研のWebサイトを開設した。大手プロバイダによるWebサービスで、契約容量は当時標準的な10MBであった。

研究紀要「愛媛の情報教育」第5号を発行した。

平成 12 年度

各部署や教科等委員会から提供される情報が増えたので、Web サーバを 30MB に拡張した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 6 号（6 号から A 4 サイズになった）を発行した。



平成 13 年度

各部署、教科等委員会から Web ページ担当者を選出し、Web ページ作成のための研修会を企画し運営した。（現在まで継続している）

愛教研情報教育委員会各支部の代表者（支部委員長）が集まり、情報教育推進指導者養成研修会を企画し運営した。（現在まで継続している）

研究紀要「愛媛の情報教育」第 7 号を発行した。

平成 14 年度

各部署、教科等委員会から掲載される情報がさらに増えたので、Web サービスをレンタルサーバに変更し、容量も 300MB に拡張した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 8 号を発行した。

平成 15 年度

愛媛県教育研究協議会の Web サイトから、実態調査のワークシートをダウンロードできるようにし、E S メールでの配布・回収を実施して、アンケート集計の円滑な活用を図った。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 9 号を発行した。

平成 16 年度

情報教育委員会が正式に組織されてから 10 年が経過した。この 10 年の活動の総括を行うとともに、ES-net の活用実践を研修会等で推進した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 10 号を発行した。

平成 17 年度

中予地区において、夏季実技研修会を松山市小学校情報教育研究委員会、及び松山市中学校情報教育研究委員会と共同して実施し（テクノプラザ愛媛）、全体会・4 分科会・基調講演の形態で開催した。

東予地区・南予地区では、継続して夏季実技研修会を計画・実施した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 11 号を発行した。

平成 18 年度

昨年度に引き続いて松山市小学校情報教育研究委員会と連携し、中予地区において午前中に実技研修会、午後パネルディスカッションを含む活用事例報告等の研修会を開催した。

東予地区・南予地区では、継続して夏季実技研修会を計画実施した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 12 号を発行した。

平成 19 年度

サービス会社の運営停止に伴い、愛媛県教育研究協議会 Web サイトのサーバを、JustSizeNet に変更した。（現在に至る）

夏季実技研修会を、情報教育委員会単独での県下 3 会場（東予・中予・南予地区）開催に戻した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 13 号を発行した。

平成 20 年度

夏季実技研修会の開催方法を、東予・中予・南予別で開催する方式から、県下統一の持ち回りで開催する方式に変更した。

新しい実施方式での第 1 回研修会を中予地区（愛媛県生涯学習センター）で実施した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 14 号を発行した。

平成 21 年度

夏季実技研修会で、前年度の研究紀要に執筆していただいた学校の発表を行うこととした。

研修会の名称を「愛媛県情報教育夏季研修会」に変更し、南予地区（宇和島市立城南中学校）で実施した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 15 号を発行した。

平成 22 年度

情報教育委員会発足

愛教研の組織再編にともない、特別委員会は役目を終えて活動を終了した。愛教研 Web サイトの更新作業については、情報教育委員会が引き継ぐことになった。

愛媛県情報教育夏季研修会を東予地区（西条市立小松小学校）で開催した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 16 号を発行した。

平成 23 年度

愛媛県情報教育夏季研修会を中予地区（松山市立椿小学校）で開催した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 17 号を発行した。

平成 24 年度

愛媛県情報教育夏季研修会を南予地区（伊方町立伊方中学校）で開催した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 18 号を発行した。

平成 25 年度

愛媛県情報教育夏季研修会を東予地区（西条市立丹原東中学校）で開催した。

情報教育委員会で、タブレット端末の活用に関する研究を開始した。その成果を、愛教研教育研究論文に応募した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 19 号を発行した。

平成 26 年度

愛教研 Web サイトが CMS でも運用できるようにした。

愛媛県情報教育研修会を中予地区（愛媛大学）で松山市小学校情報教育研究委員会と共催で開催した。

情報教育委員会で研究しているタブレット端末の台数を増やし、「一人に一台」や「グループに一台」で活用する研究を行った。その成果を、愛教研教育研究論文に応募した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 20 号を発行した。

平成 27 年度

愛媛県情報教育夏季研修会を南予地区（宇和島市立明倫小学校）で開催した。

情報教育委員会で研究しているタブレット端末に SIM を導入し、通信機能のある一人一台環境を整えて、授業や家庭学習で活用する研究を行った。その成果を、愛教研教育研究論文に応募した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 21 号を発行した。

平成 28 年度

各部局や委員会の更新作業の簡素化、更新頻度の増加をねらって、愛教研 Web サイトをすべて CMS で運用するよう準備を進めた。

愛媛県情報教育夏季研修会を東予地区（新居浜市市民文化センター）で開催した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 22 号を発行した。

平成 29 年度

情報教育委員会単独の活動としての最終年度。視聴覚教育委員会との合併に向けて、お互いの事務局担当者が業務のすり合わせ等を行った。

愛媛県情報教育夏季研修会を中予地区（愛媛県武道館）で開催した。

研究紀要「愛媛の情報教育」第 23 号を発行した。

情報教育委員会は、24 年間にわたって愛媛の情報教育発展に寄与するために活動してきた。この間に、社会の情報化はますます進展し、ICT 機器の活用は、学習指導要領のどの教科やどの学年でも取り上げられるようになった。平成 30 年度からは「視聴覚・情報教育委員会」として、今までの伝統を大切にしながら、さらに活動を発展させていきたい。